

1 単元名 PROGRAM 8 「Origami」(SUNSHINE ENGLISH COURSE 1)

2 単元の目標

- 助動詞 canや疑問詞 How, 対話方略を使って, 対話を継続・発展しようとする。
(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
- 即興で対話を継続・発展することができる。(外国語表現の能力)
- 本文を聞いたり読んだりして, その内容を理解することができる。(外国語理解の能力)
- 助動詞 canや疑問詞 Howの文構造・用法を身に付けている。(言語や文化についての知識・理解)

3 単元の指導について

(1) 教材観

本単元は, 日本文化の一つである折り紙を通して国際交流する内容を扱っている。大介が英語のスピーチの時間に, 折り紙で折った動物について話し, 留学生マイクと交流する。ウッド先生はカナダで折り紙と出会ったエピソードを語っている。これらを通して, 折り紙は, 世界中の人々の興味や関心を惹きつけるものであることを学ぶことができる。

言語材料としては, 助動詞 can及び疑問詞 Howを扱う。助動詞は初出事項であるが, 小学校外国語活動で音声面で慣れ親しんできている。導入段階で, 小学校での活動を想起させ, その後の対話活動などで活用を図る。疑問詞 Howの導入も同様に言い, その後の対話活動で繰り返し活用して定着を図る。特に疑問詞 Howは相手からさまざまな情報や意見を聞き出すことができるので, 対話を継続・発展させるには重要な表現である。

(2) 生徒の実態

本学級の生徒に, 「学校」というテーマで, ALTと1分間対話するパフォーマンステストを行った。相手の発話に関連して即興で質問をすることができた生徒は*人, できなかった生徒は*人であった。相手の発話に適切に回答することができた生徒は*人, できなかった生徒は*人であった。相づちを打つ, 繰り返す, 確かめる, つなぎ言葉を使う(以下, 「対話方略」という。)ことができた生徒は*人, できなかった生徒は*人であった。

対話を継続・発展させることができなかった理由は, 話したい内容を英語でどう表現したらいいのか分からなかったことや場面に応じて対話方略を活用することができなかったからである。これまでは, 事前に準備したものを覚えてから対話を継続・発展させる指導を行ってきたが, その場で考えて対話を継続・発展させる指導は十分ではなかった。このことから, 即興で既習表現や対話方略を活用しながら対話を継続・発展させるための学習指導の工夫・改善が必要であると考えられる。

(3) 指導観

生徒の実態を踏まえ, 本単元では, Small Talkを帯活動として活用する。Small Talkは既習表現や対話方略を繰り返し使うことで, それらの定着を目的としている。まず, 生徒にとって関心のある事柄をテーマに, 対話を数回繰り返して, 即興で対話しなければならない場面を設定する。次に, 指導の重点を内容の伝達に置きながら, 対話中に教師が適宜フィードバックすることで, 既習表現を想起させたり対話方略の活用を促す。活動後に, Small Talkで話したことをもとに書く活動を行う。この活動は, 既習表現を使って対話したことをReflection Sheetに文字化して振り返ることである。生徒は書いたものをそのシートに蓄積し, 友達や教師からのフィードバックを受け, 既習表現を正確に書くことができるようにする。また, Reflection Sheetは, それぞれの生徒が書いた既習表現を蓄積するオリジナル表現集としても活用し, 生徒同士で見合うこともできるようにする。次時の活動前にもReflection Sheetで振り返り, 既習表現や対話方略の活用を促す。対話方略の活用の手立てとして, それらを使用する場面や表現を一覧にした対話方略ガイドを活用し, 対話が円滑に進むようにする。

第8時の学習では、インタラクティブフォーラム形式の対話活動を行う。三人グループでSmall Talkと同じテーマで2分間即興で対話を継続・発展することができるようにする。この活動は、本単元の学習とSmall Talkのまとめとして位置付け、助動詞 canや疑問詞 Howの活用を促し、既習表現や対話方略の定着を確認する。活動の最後には、初出のテーマで対話を行い、即興で対話を継続・発展させることができたか、生徒自身で振り返ることができるようにする。このように、一連の言語活動を繰り返すことで、既習表現と対話方略の定着を図り、即興で対話を継続・発展させる力を育てたい。

4 指導計画（9時間扱い）

時	学習内容	評価規準	評価規準			
			関	表	理	言
1	<ul style="list-style-type: none"> ・ガイダンスをする。 ・事前調査をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の見通しをもつことができる。 	○			
2	<ul style="list-style-type: none"> ・Small Talkをする。 テーマ「テレビ番組」 ・30秒クイズをする。 ・60秒クイズをする。 ・助動詞 canの文構造・用法を身に付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・助動詞 canの文構造・用法を身に付けることができる。 		○		○
3	<ul style="list-style-type: none"> ・Small Talkをする。 テーマ「テレビ番組」 ・30秒クイズをする。 ・60秒クイズをする。 ・疑問詞 Howの文構造・用法を身に付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・疑問詞 Howの文構造・用法を身に付けることができる。 		○		○
4	<ul style="list-style-type: none"> ・Small Talkをする。 テーマ「スポーツ」 ・30秒クイズをする。 ・60秒クイズをする。 ・PROGRAM8-1を聞いたり読んだりして、その内容を理解する。 ・対話方略（確かめ、繰り返し）の活用方法を練習する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本文の登場人物のスピーチを聞いたり読んだりして、その内容を理解することができる。 			○	
5	<ul style="list-style-type: none"> ・Small Talkをする。 テーマ「スポーツ」 ・30秒クイズをする。 ・PROGRAM8-2を聞いたり読んだりして、その内容を理解する。 ・対話方略（ひと言感想、さらに質問）の活用方法を練習する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本文の登場人物の対話を聞いたり読んだりして、その内容を理解することができる。 			○	
6	<ul style="list-style-type: none"> ・Small Talkをする。 テーマ「休日」 ・30秒クイズをする。 ・PROGRAM8-3を聞いたり読んだりして、その内容を理解する。 ・対話方略（ひと言感想・さらに質問）の活用方法を練習する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本文の登場人物のエピソードを聞いたり読んだりして、その内容を理解することができる。 			○	
7	<ul style="list-style-type: none"> ・Small Talkをする。 テーマ「休日」 ・30秒クイズをする。 ・PROGRAM8の穴あき音読を行う。 ・PROGRAM8の再話活動を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本文を聞いたり読んだりして、その内容を理解することができる。 	○		○	
8 本時	<ul style="list-style-type: none"> ・30秒クイズをする。 ・既習表現を活用して、インタラクティブフォーラム形式で対話する。 ・テーマ「テレビ番組・スポーツ・休日」 	<ul style="list-style-type: none"> ・即興で対話を継続・発展することができる。 		○		
9	<ul style="list-style-type: none"> ・事後調査をする。 ・ALTとパフォーマンステストを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・即興で対話を継続・発展することができる。 		○		

5 本時の指導

(1) 目標

- 即興で対話を継続・発展することができるようにする。 (外国語表現の能力)

(2) 準備物

- Reflection Sheet I, Reflection Sheet II, ルーブリック評価表, 相互評価メモ, 拡大掲示物, タイマー

(3) 展開

学習活動・内容	指導上の留意点・評価 (※評価)
1 英語で簡単な挨拶をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・元気に挨拶をして、英語を学習する雰囲気を作る。
2 30秒クイズを行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・黒板に示された写真を説明する。二人1組のクイズ形式で行い、言い換えの練習をする。生徒にとって表現しやすい写真を選ぶ。
<p>3 生徒同士で対話のデモンストレーションをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対話する生徒は、前時までに進んでいたテーマで対話する。 ・聞く生徒は、対話方略の使い方に注意して聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前時までの学習で、目標に迫る対話をしている生徒を選出し、デモンストレーションを行う。 ・皆で対話を見合い、本単元のポイントとなる表現を共有する。デモンストレーションをした生徒を称賛し、達成感や成就感を感じられるようにする。
<p>4 本時の学習課題を把握する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>相手の情報や考え、気持ちを聞きだそう。 — 2分間チャレンジ! —</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・相手の発言を確かめたり、相づちを打ったりして、対話方略の活用を促す。
<p>5 インタラクティブフォーラム形式で対話する。</p>	
<p>(1) 教師のデモンストレーションを見る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・デモンストレーションで対話の見通しをもつ。二人だけの対話にならないなどの注意点を伝え、三人での対話がスムーズに進行するようにする。
<p>(2) Reflection Sheet I, Reflection Sheet IIで振り返り、既習表現や対話方略の確認をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・Reflection Sheet I, Reflection Sheet IIで振り返り、既習表現や対話方略の活用を促す。Small Talkと同じ学習の流れであることを伝える。
<p>(3) 対話する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三人1組で2分間対話する。 ・毎回、メンバーを変えて行う。 ・テーマは、「テレビ番組」「スポーツ」「休日」の順で行う。 ・Reflection Sheet IIで振り返る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・三人のグループ構成を毎回変えて、即興で対話できるような場の設定をする。1回ごとに移動するので、あらかじめ移動する場所を生徒に提示しておき、スムーズに進行できるようにする。 ・教師がフィードバックする場面をつくり、既習表現や対話方略を想起させる。
<p>6 第1学年*組インタラクティブフォーラムを行う。</p>	
<p>(1) 対話する。</p>	
<p>(2) ルーブリック評価表をもとに対話を評価する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・初出のテーマで対話することで、即興で対話を継続・発展させることができているか確認する。 ・対話するグループと評価するグループの半分に分けて実施する。ルーブリック評価表をもとに評価させ、理由を説明できるようにする。
	<p>※ 即興で対話を継続・発展することができる。(観察, ビデオ)</p>
<p>7 学習を振り返る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・Reflection Sheet I, Reflection Sheet IIで本時の振り返りを行う。